

令和5年3月29日
赤羽会館小ホール
午後2時00分から

令和4年度 赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会
第5回幹事会 次第

1. 開会 尾花会長挨拶

2. 議題
 - (1) まちづくり提案の方向性について（※前回幹事会のおさらい）
 - (2) まちづくり懇談会の開催について
 - (3) まちづくりニュースの発行について

3. その他

(配布資料)

- | | |
|-----|------------------------------|
| 資料1 | 令和4年度第5回幹事会スライド投影資料 |
| 資料2 | まちづくり懇談会の開催案内ビラ（案） |
| 資料3 | 赤羽駅東口地区まちづくりニュース（案） |
| 資料4 | 赤羽駅周辺地区まちづくりだより『赤羽 PRESS』創刊号 |

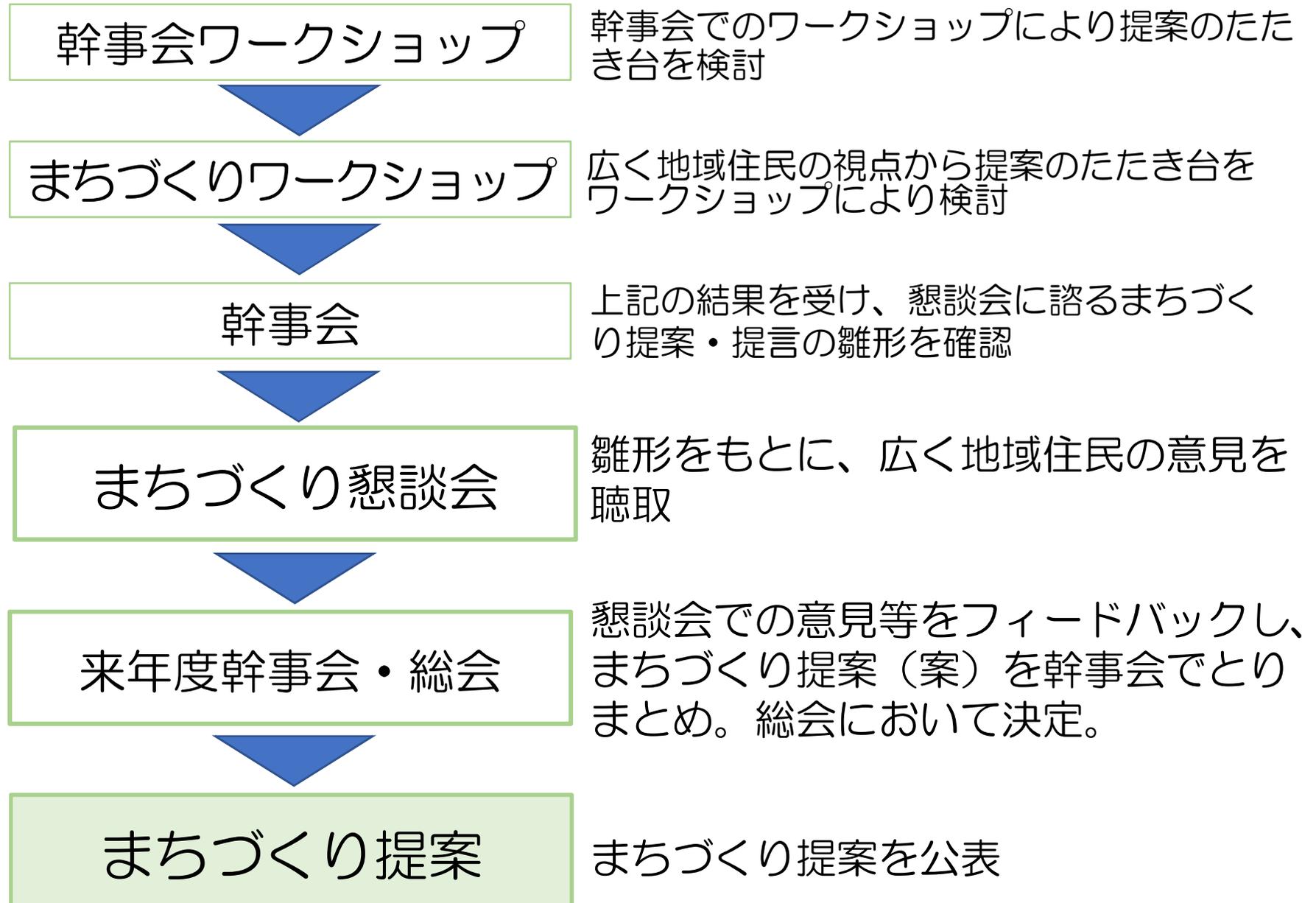
◎次回幹事会：まちづくり懇談会開催後に調整します。

赤羽駅東口地区まちづくり協議会 幹事会



令和5年3月29日

【 今後の流れ 】



【 まちづくり提案・提言のイメージ（一例） 】

3

私たち、赤羽駅東口まちづくり全体協議会は、平成27年度に赤羽駅東口の将来のまちづくり像を「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」としてまとめました。

それから8年が経過し、駅前地区での市街地再開発事業など、新たなまちづくりの動きなど、地区周辺を取り巻く環境は大きく変わってきています。

※私たち協議会は、この機に、あらためて「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」を、地区住民が目指すまちの将来像として、それぞれが主体となってその実現を図るものとして共有できるよう、より具体的な表現として表すことを試み、ここに「まちづくり提案」として、まとめます。

※本スライドは、あくまでまとめ方の一例としての雛形をお示ししています。

※記載内容について決定したものではなく、今後幹事会での議論を踏まえ取りまとめます。

【 まちづくり提案・提言のイメージ（一例） 】

- ① 「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」において、「地域の活動拠点」として位置づけた、現在の赤羽小学校の敷地付近は、今後も将来に渡り、地区の活動拠点としての土地利用が相応しいことを再確認しました。
- ② 具体的な土地利用にあたっては、赤羽小学校がそのまま存置し続けることが望ましいとの意見が多く出ました。
- ③ また、赤羽小学校が「地域の活動拠点」として一層機能するため、・・・
（※例：希望することを記述する）
- ④ 他方、事業化の検討が進む市街地再開発事業は、・・・
（※例：期待することや懸念されることを記述する）
- ⑤ もしも教育環境への影響が顕著である時は、・・・
（※例：他所への移転も選択肢の一つであることを記述する）
- ⑥ 「地域の活動拠点」と赤羽駅を繋ぐ赤羽駅東口の駅前広場は、・・・
- ⑦ 赤羽公園・赤羽会館は、・・・
- ⑧ 商店街は・・・
- ⑨ まちの資源を活用して・・・
- ⑩ まちなかの回遊性は・・・
- ⑪ その他

※本スライドは、あくまでまとめ方の一例としての雛形をお示ししています。

※記載内容について決定したのではなく、今後幹事会での議論を踏まえ取りまとめます。

次 第

1. 開 会 尾花会長挨拶

2. 議 題

(1) まちづくり提案の方向性について

(2) まちづくり懇談会の開催について

(3) まちづくりニュースの発行について

3. その他

【 日程・参加者募集 】 (案)

※別紙資料 開催案内(案)

●開催日時

第1回 月 日 () 時～

第2回 月 日 () 時～

※両日とも1時間半程度で、同じ内容です。ご都合の良い日程でお申し込みください。

●開催場所

●開催概要

- ・オリエンテーション（これまでの経緯・ワークショップの成果説明）
- ・グループワーク
～「まちづくり提案」に盛り込みたいまちづくりの想いは何ですか？～

●参加方法(事前申込制)

イベント名（まちづくり懇談会）、希望回（第1回・第2回・どちらでも良い）、名前（ふりがな）、住所、電話番号、ご記入の上、月 日 () 【**必着**】までにメールもしくはFAXにて事務局までお申し込みください。

多くの方にご参加いただくため、ご都合のつく方は、できるだけ「どちらでも良い」をご選択ください。

ご参加いただく回は参加証にてお伝えします。参加証は 月 日 () までに、お送りいたします。

【 開催概要 】（案）

●オリエンテーション(全体説明)

- ・まちづくり提案の位置づけ、懇談会の目的、これまでの経緯を説明
- ・幹事会ワークショップ成果の説明、まちづくりワークショップによる新たな意見等を紹介

●意見交換

- ・グループワーク（参加人数に合わせて、グループ分け）
- ・説明を踏まえ、まちづくりの想いや意見を付箋に書き込み（机上に、雛形を簡略化した貼り込み台紙を用意）
- ・書き込んだ内容について、順に述べながら付箋を台紙に貼り込み
- ・「拠点の在り方」「拠点と連動したまちづくり」についてそれぞれ一回り行った後、相互に意見交換など
- ・1時間程度のグループワークの後、グループ毎に発表

●進行体制

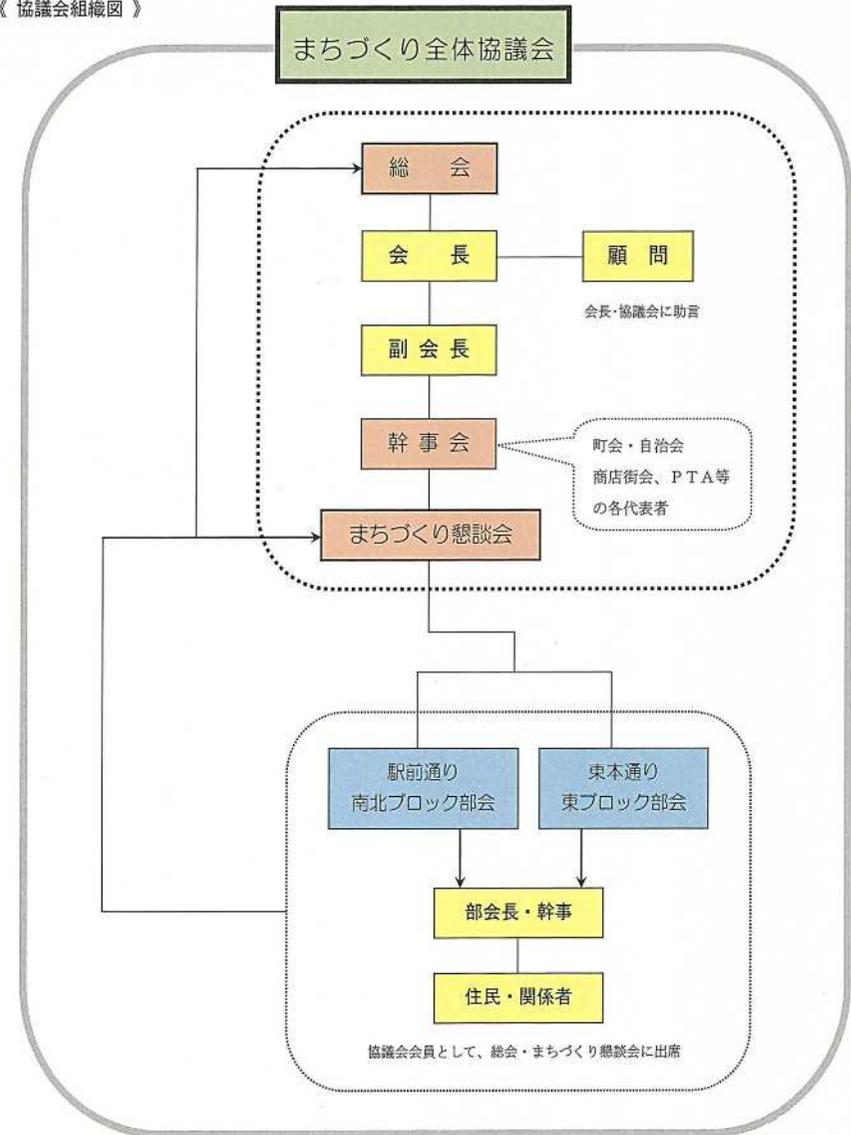
- ・各グループに、事務局から1～2名を配し、進行役となる
- ・協議会を構成する各団体から各1名（各回5～6人ずつ）の幹事が意見交換を見守る。

【赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会とは】

「赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会」は、地域内に居住する住民ならびに自治会、商店街会、PTA等関係者と北区が、地域に愛着を持ち、住み続けられるまちづくりを目指し、まちづくりの勉強会や情報等を交換し、互いに考え行動することで相互理解を深め、赤羽駅東口地区まちづくりの円滑な推進を図ることを目的として活動しています。



《協議会組織図》



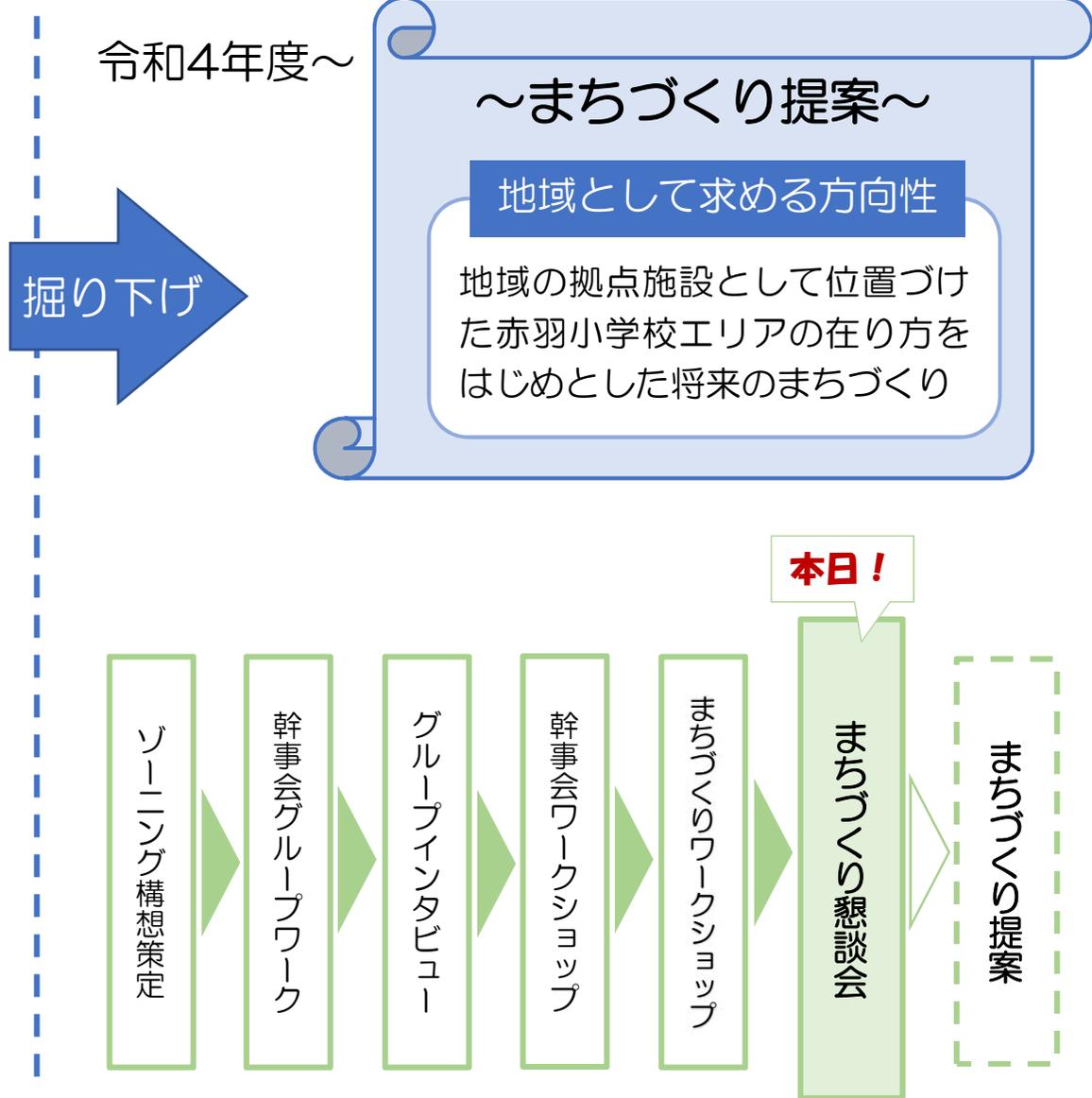
【まちづくり提案の目的と懇談会の位置づけ】

ゾーニング構想
(平成27年度)



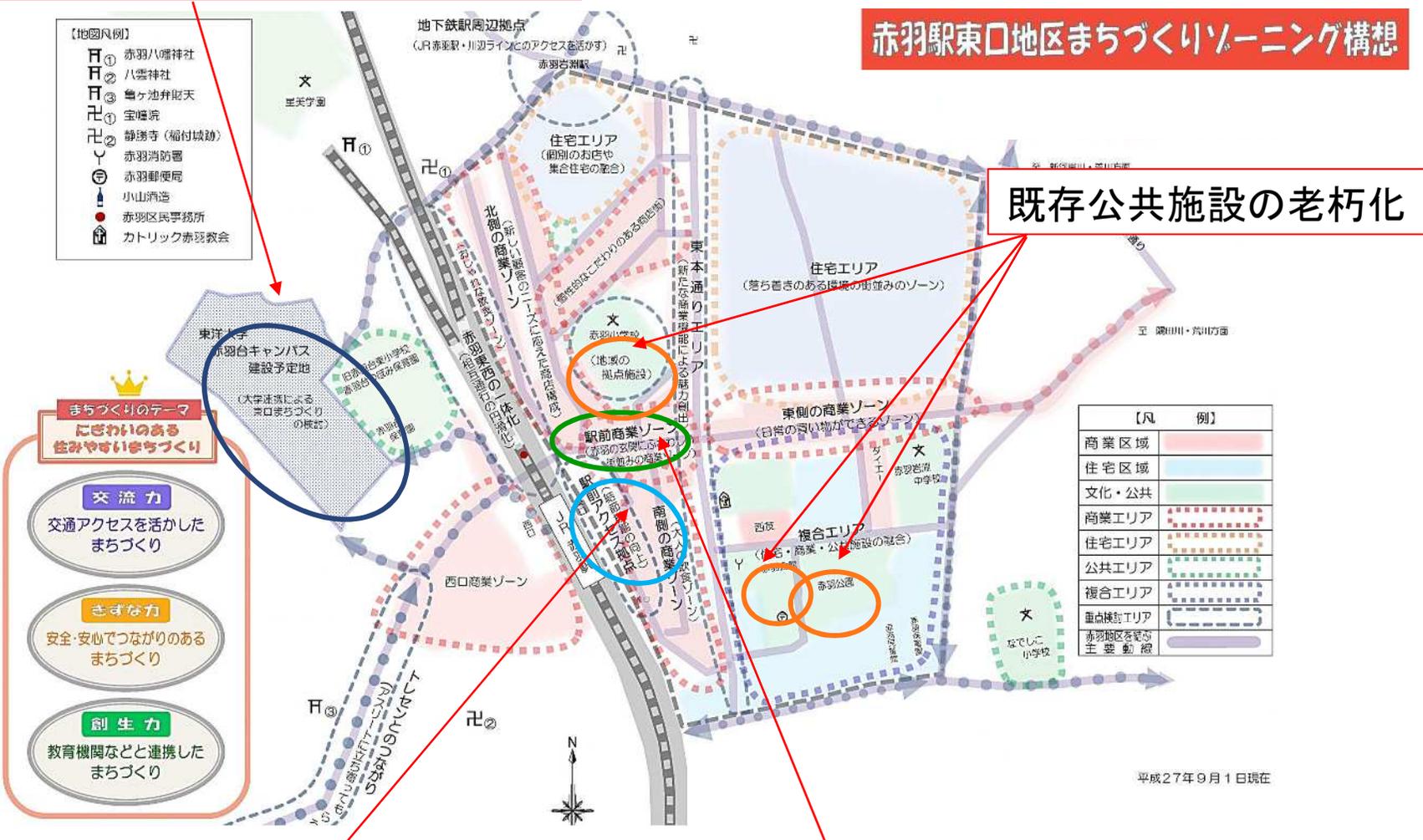
幹事会グループワーク
(平成30年度)

グループインタビュー
(令和元年度)



【ゾーニング構想の掘り下げに向けた一層の検討】

東洋大学赤羽台キャンパスの開設



駅前の違法駐輪問題

組合施行の再開発事業の事業化検討

【 再開発事業の事業化の動き 】



赤羽一丁目第一地区 (約0.5ha)

平成28年6月に準備組合が組織され、その後、平成29年12月に準備組合設立届が提出された。

令和2年8月に再開発事業に係る都市計画決定が告示されており、敷地の高度利用と併せ、緑化等により憩いの空間となる公共空地や、約150台の公的駐輪場の整備が計画されている。

赤羽一丁目第二地区 (約0.7ha)

平成30年5月に準備組合が組織された。
令和3年度に事業推進体制を強化し、権利者の合意形成等の取組みを進めている。

赤羽一丁目第三地区 (約0.5ha)

令和元年10月に準備組合が組織され、その後、令和4年3月に準備組合設立届が提出された。
引き続き権利者合意形成を進めながら、具体的な計画検討に着手している。



整備イメージ図

<計画概要>

階数：26階・地下1階

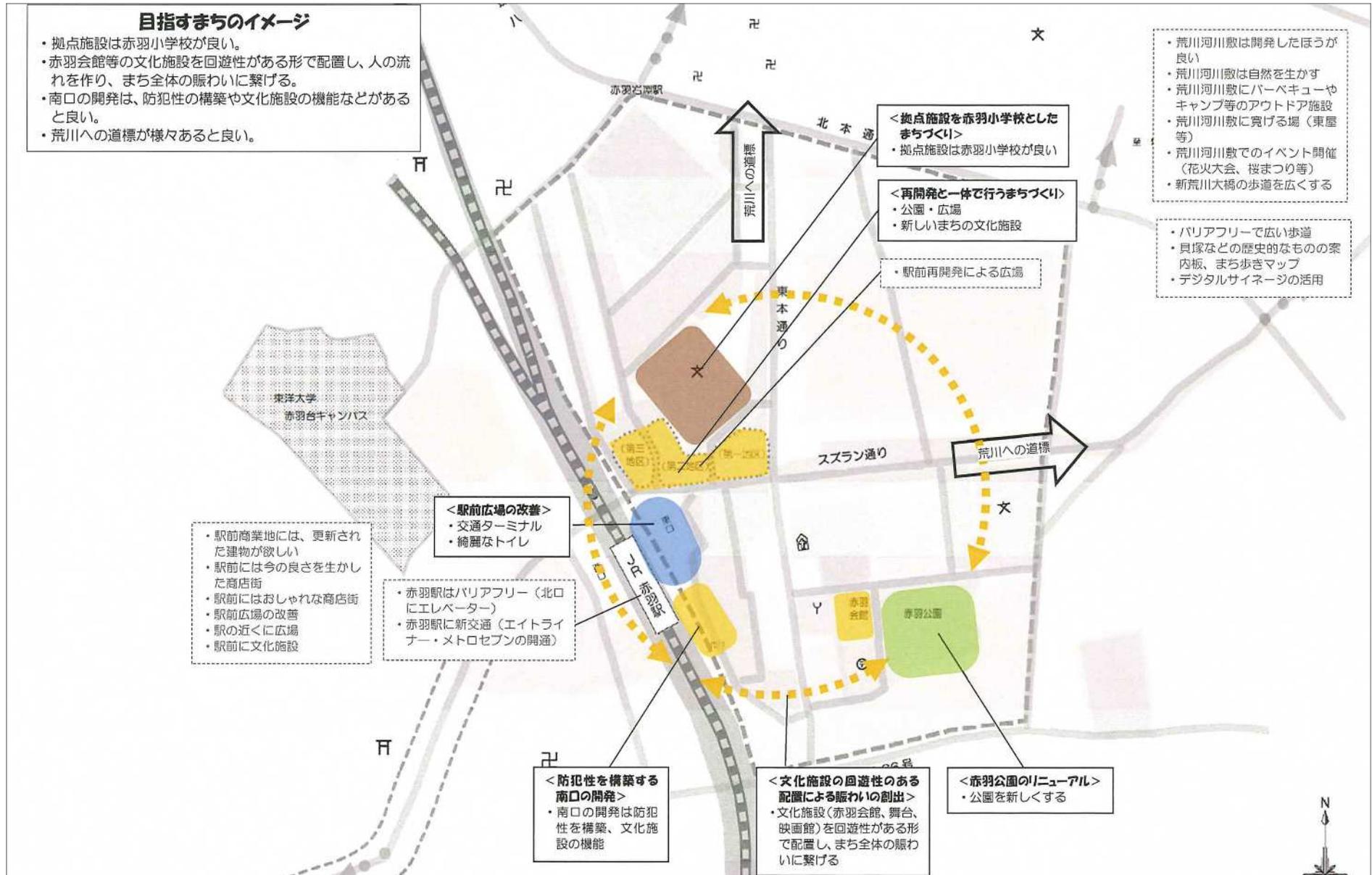
高さ：約110m

主な用途：

住宅約300戸、店舗、
公的駐輪場等

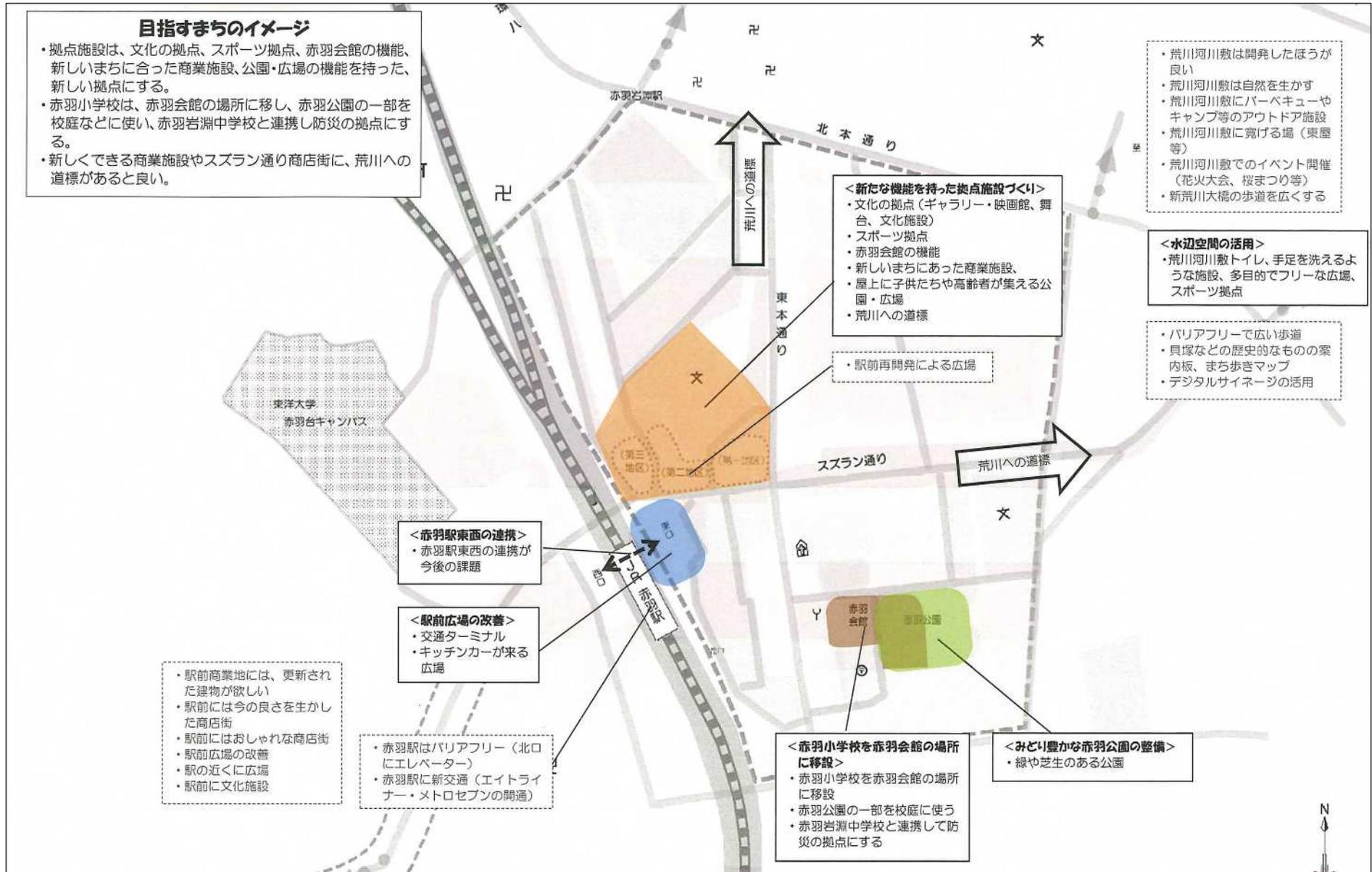
【 幹事会ワークショップの成果説明 】

＜パターンII＞



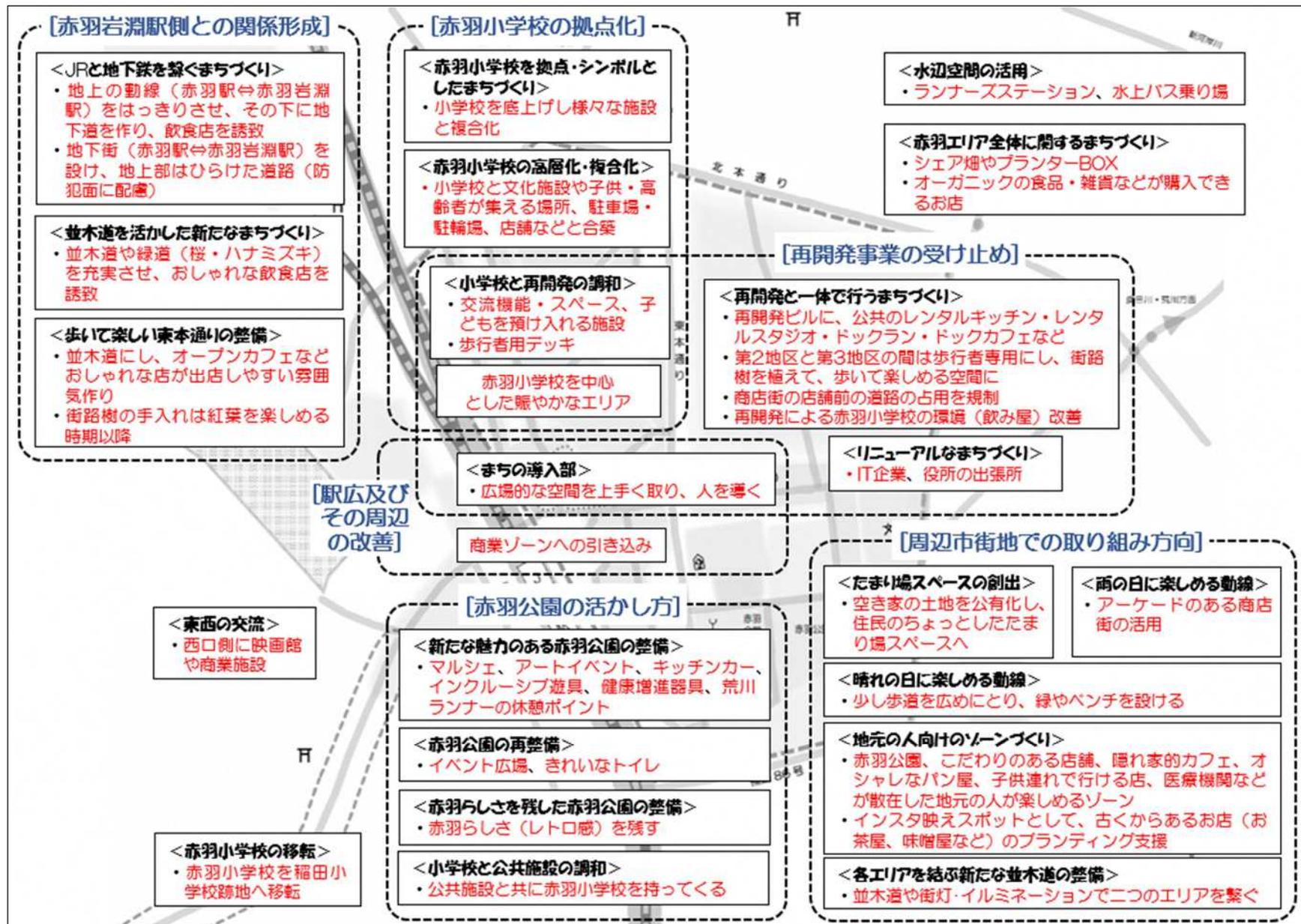
【 幹事会ワークショップの成果説明 】

<パターンⅢ>



【 幹事会ワークショップの成果説明 】

〈まちづくりワークショップによる新たな意見〉



【 グループワークの進め方 】

意見出し

①

説明を聞いて感じた、今後のまちづくりへの思いなどを、各参加者が付箋に書き出し。(3つまでなど)

書いた内容を、一人ずつ順に説明しながら、台紙の該当する項目の枠に貼り込み。

意見出し

②

他参加者の意見を聞いたうえで、新たな考えなどを、付箋に書き出し。

書いた方から随時、説明しながら、台紙に貼り込み。

意見交換

自由に意見交換。(発言は極力、付箋に書いて頂く)

発表

出された意見の概要を、進行役等がグループごとに発表。

※参加人数によって意見出しの回数などを調整し、1時間～1時間半程度で行います。

【 懇談会グループワーク・意見交換の題材 】 (案)

＜地域の拠点として位置づけた赤羽小学校エリアの在り方＞

① 拠点の場所と機能について

- ・ 赤羽小学校敷地付近
- ・ 交流機能
- ・ 文化機能

② 赤羽小学校の場所と機能について

- ・ 現在地で存続
- ・ 複合化
- ・ 著しい環境悪化が想定される場合は移転も視野

③ 事業化の検討が進む市街地再開発事業はについて

- ・ 防災性向上
- ・ 都市基盤整備
- ・ 賑わい、魅力向上に寄与

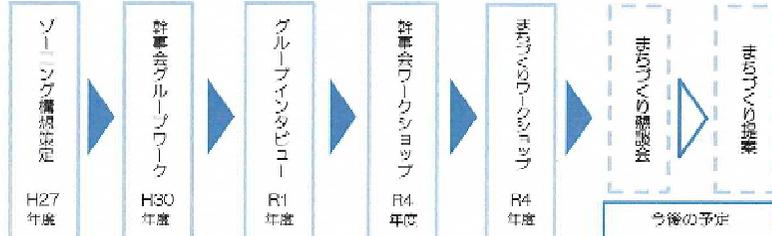
次 第

1. 開 会 尾花会長挨拶
2. 議 題
 - (1) まちづくり提案の方向性について
 - (2) まちづくり懇談会の開催について
 - (3) まちづくりニュースの発行について
3. その他

【まちづくりニュース（案）】

まちづくり提案に向けた今後の流れ

今後は、ワークショップ等の成果を広く地域の方々と意見交換をする場として「まちづくり懇談会」を開催し、「まちづくり提案」にとりまとめていきます。



まちづくり懇談会について

まちづくり懇談会は、より多くの地域の方にご参加いただく機会を設けるため、2日間の日程を確保し開催することになりました。詳細・申込方法は追って、協議会エリアに関連する町会・自治会区域内の全世帯に配布いたします。

- 開催日時
 - 第1回 ○月○日(○)
 - 第2回 ○月○日(○)
 ※両日とも同じ内容です。ご都合の良い日程でお申し込みいただけます。
- 開催概要
 - ・オリエンテーション（これまでの経緯・ワークショップの成果説明）
 - ・グループワーク
 ～「まちづくり提案」に盛り込みたいまちづくりの想いは何ですか？～
- 参加方法
 - メールもしくはFAXにて事前申込をしていただきます。



当面の協議会人事について

令和3・4年度の協議会活動は、コロナ禍の情勢に十分配慮しながら総会で議決した活動方針に則ってこれまで行ってきました。しかし感染拡大の影響で活動着手が遅れ、途中2度の中断も発生したため、所期の到達点（まちづくり提案取りまとめ）まで至っていない状況です。一方で、まちづくり懇談会の開催を控え、まちづくり提案のとりまとめも視野に入ってきていることから、協議会人事については、コロナ禍で中断した期間を充てる形で、まちづくり提案を取りまとめるまでは現在の令和3・4年度の人事のまま、当面の間は活動を継続することにしました。

◆ 問合せ先：赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会 事務局
北區まちづくり部まちづくり推進課 ☎ 03-3908-9154 (直通)
東京都北區公式ホームページ (赤羽駅東口地区のまちづくり)
<http://www.city.kita.tokyo.jp/jutaku/toshikekaku/machizukuri-02/index.html>



赤羽駅東口地区 (案) 令和5年4月
まちづくりニュース 発行：赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会

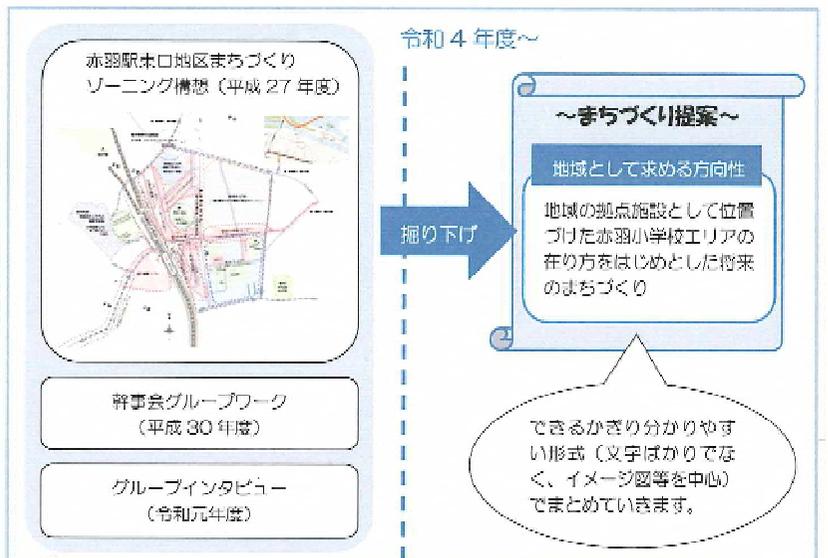
「まちづくり提案」の作成に向け ワークショップ形式で将来のまちづくりについて検討を進めています。

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会では、地域内で事業化が計画されている住民発意による市街地再開発事業等の新たなまちづくりの進捗にあわせて、将来のまちづくりについて一層の検討を深めています。

令和4年度は、平成27年度に策定したゾーニング構想や過年度のグループインタビュー等の成果を掘り下げていくことで、地域の拠点施設として位置づけた赤羽小学校エリアの在り方をはじめ、将来のまちづくりにおいて、地域として求める方向性をまちづくり提案として作成することを目指して活動してきました。

幹事会では、活発な議論を行うため、ワークショップの形式を取り入れました。

また、より多くの地域の皆さんのご意見を参考にし、まちづくり提案に反映させるため、協議会エリアにお住まいの方を対象に公募で、幹事会で実施したワークショップと同様の形式で「まちづくりワークショップ」を開催しました。



幹事会ワークショップ・まちづくりワークショップのご報告
は本誌の中間をご覧ください。

【まちづくりニュース（案）】

幹事会ワークショップのご報告

<第1回幹事会>

- 開催日時 令和4年5月31日（火）午後2時～3時15分
- 会場 赤羽会館



- ①これまで実施したグループワークやインタビューの振り返り
- ②登喜串別館の紹介
- ③次回グループワークのテーマ出し

「赤羽」ってどんなまち？「赤羽」をどんなまちにしたい？という視点で、2回目幹事会グループワークのテーマを掘り起こしました。

<第2回幹事会>

- 開催日時 令和4年7月5日（火）午後2時～3時45分
- 会場 赤羽会館



前回の幹事会で出されたテーマをもとにして、目指すまちのイメージを、いろいろな立場や角度から膨らませました。

第1回で掘り起こされたテーマ

- テーマ① 誰もが暮らしやすいまち赤羽
- テーマ② みどりや自然のあるまち赤羽
- テーマ③ 新しい魅力を発信するまち赤羽

自分以外の異なる立場・視点で考えるためカードを引き、書かれた人物になり切り考えました



<第3回幹事会>

- 開催日時 令和4年10月19日（水）午後2時～3時50分
- 会場 赤羽会館



膨らませたイメージを少しずつ具体的に、「どのようなもの」が、「どこ」にあったら良いか、まち全体との関係に留意して考えました。

赤羽小学校は、再開発との親和性に問題があるが、今の位置にあり続けた方が良いという意見が多く出た一方、小学校はより良い教育環境を求めて、赤羽会館や赤羽公園の一部に移設しても良いのではという意見も出ました。

また、荒川への道標が様々あると良いといった意見や、赤羽会館等の文化施設を回遊性がある形で配置し、人の流れをつくり、賑わいに繋げるといった意見などが出ました。

赤羽小学校	赤羽会館	赤羽公園



第2回幹事会で出された意見をもとに作成した具体的なイメージのラベルを地図に貼りこみながら議論しました

まちづくりワークショップのご報告

<第1回>

- 開催日時 令和4年12月10日（土）午前10時～正午
- 会場 赤羽会館



「赤羽」ってどんなまち？「赤羽」をどんなまちにしたい？という視点で、目指すまちのイメージを、色々な立場、角度から膨らませました。

<意見出し>その①
まずは自分自身が暮らす中で感じていることを書き出しました。

<意見出し>その②
次に多様な意見を求めるため、カードを引き、書かれた人物になり切ってイメージしてみました。

<第2回>

- 開催日時 令和4年12月17日（土）午前10時～正午
- 会場 赤羽会館



膨らませたイメージを少しずつ具体化し、どこに何があったら良いか、実現するためにはどうしたら良いか、まち全体との関係に留意して考え、地図に落とし込みました。

赤羽小学校は今の位置が良いという意見が多く、複合化や高層化、再開発事業に取り込む案が出た一方で、日照などの問題を考慮し、学校跡地や赤羽会館・赤羽公園を赤羽小学校の敷地に活用しても良いのではという意見も出ました。

また駅前広場の改善や、赤羽公園にカフェや芝生などを設けて魅力をアップする、駅前と赤羽会館・赤羽公園の間に魅力的な動線をつくるなどの意見が出ました。



幹事会（ワークショップの振り返り・まちづくり懇談会に向けて）

<第4回幹事会>

- 開催日時 令和5年2月21日（火）午後2時～3時50分
- 会場 赤羽会館



<第5回幹事会>

- 開催日時 令和5年3月29日（水）午後2時～〇時〇〇分
- 会場 赤羽会館

第4回・5回の幹事会では、幹事会ワークショップやまちづくりワークショップの振り返りを行うとともに、まちづくり懇談会の開催に向け、まちづくり提案のイメージの共有や、まちづくり懇談会の開催方法について意見交換しました。

次 第

1. 開 会 尾花会長挨拶

2. 議 題

(1) まちづくり提案の方向性について

(2) まちづくり懇談会の開催について

(3) まちづくりニュースの発行について

3. その他

【 赤羽PRESS 配布のご報告 】

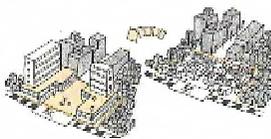


市街地再開発事業ってどんな事業ですか？

A

低層の木造建築物が密集し、防災上の懸念がある市街地等において、敷地を統合し、不燃化された共同建築物に建て替え、合わせて広場や街路などの公共施設とオープンスペースを確保することで、快適で安全な都市環境を再生させることを目的とし、都市再開発法に基づき行われる事業です。

市街地再開発事業のイメージ



赤羽駅東口周辺市街地再開発事業のイメージ（赤羽駅東口周辺市街地再開発事業推進課）

「赤羽公園」にリニューアルの計画はありますか？

A

「赤羽公園」は駅東口周辺の貴重なみどりや憩い、にぎわいの空間であり、防災上も重要なオープンスペースとなっています。駅東口周辺の一層の魅力あるまちづくりを進めるため、「まちづくり計画（下記参照）」の中で、赤羽公園の施設更新について検討を行っています。



赤羽駅東口周辺地区まちづくり基本計画の策定に着手します！

区では、第二地区及び第三地区の準備組合結成を受けて、今後同地区周辺で市街地再開発事業による大規模な土地利用転換が見込まれることから、適切な土地利用を誘導し、望ましい土地利用の考え方をまとめるため、令和5年度から「まちづくり基本計画」の策定に着手します。

なお、基本計画策定にあたっては、区民の皆様のご意見等をお聞きすると共に、今後適時情報提供を行ってまいります。

この『赤羽 PRESS』では、赤羽駅東口周辺地域の皆様に、まちづくりの進捗に合わせ、適時適切に情報をご案内させていただきます。

事業化が進む再開発事業の進捗状況や、「まちづくり基本計画」の策定に向けた検討状況などをお知らせさせていただきますので、是非ご質問いただくとともに、ご意見やご質問がありましたら下記までお問合せ下さい。

今後とも赤羽駅東口のまちづくりに、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先 北区まちづくり推進課（担当：荒川、梶川、福島）
 電話：03-3908-9154 Fax：03-3908-2244
 E-mail：machisuishin-ka@city.kita.lg.jp

赤羽駅周辺地区 まちづくりだより フレス 赤羽PRESS 創刊号

令和5年3月 発行：北区まちづくり推進課

北区ホームページ検索
 『赤羽駅 まちづくり』



『赤羽 PRESS』の発行にあたって

東京の北の玄関口であり、区内屈指のにぎわいのまちである赤羽駅東口周辺では、地区の権利者の方々が中心となって、災害に強く、魅力あるまちづくり（市街地再開発事業）を進める動きが盛んになっています。区は、「区民とともに」のまちづくりの基本的な姿勢のもと、この間、これらの動きを積極的に支援しています。

この『赤羽 PRESS』は、区が支援しながら進めていくまちづくりの動きを、地域の皆様にお知らせし、ご理解をいただくため発行するものです。

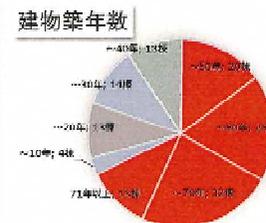
赤羽駅東口周辺地区の市街地再開発事業区域について

赤羽駅東口周辺の市街地再開発事業は右の図の3つの地区に分かれて事業化の検討が進められています。

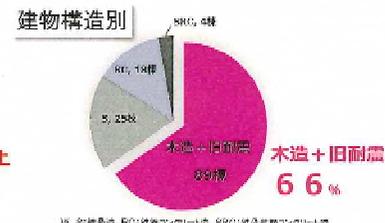
このあたりは、区内でも有数の商業地の一画でありながら、震災復興を経験した市街地の成り立ちから、現在は老朽建築物が数多く密集し、防災面において深刻な課題を抱えています。



▼ こちらの円グラフは3つの地区の建物状況を表したグラフです。



築40年以上
 約70%



■ 地震の際に倒壊の懸念がある木造建築物と、現在の耐震基準に変更される前（旧耐震基準時）に建築された建物が全体の2/3を占めており、防災面での不安があります。

■ 建物全体の約70%が築40年以上（そのうち築50年以上が過半数）を経過しており、施設更新の時期を迎えています。長屋造りの建物も多く更新が進んでいません。

【 赤羽PRESS 配布のご報告 】

市街地再開発事業の事業化に向けた各地区の現況

赤羽駅東口周辺地区（赤羽一丁目地内）では、駅前通りに面する3つの地区（右下图参照）で、それぞれ市街地再開発事業の事業化が検討されています。各地区において、このあたりの地域が防災面や災害時への不安を抱えることから、震災や地震など、いざという時への心配や、次世代への継承という将来への様々な課題を解決し、魅力あるまちづくりを進めるため、権利者の方々が中心となって事業化に向けた組織（準備組合）を設立し、合意形成を図りながら、検討を進めています。

■赤羽一丁目第一地区

- ◎令和2年8月に、3つの地区に先駆けて、市街地再開発事業の都市計画を決定しました。
- ◎その後、準備組合にて、事業認可に向けた検討や、事業を安定的に進めるための事業推進体制の強化が図られました。
- ◎令和4年3月には、準備組合が主催し、地域住民を対象とした「事業概要説明会」が開催されました。

▼第一地区施設イメージパース



※今後の検討により、施設計画/スケジュールは変更となる場合があります。

◀今後の予定▶

- ◎令和5年7月頃を目途に、都市再開発法第11条に基づく本組合設立認可申請を目指しています。
- ◎現時点での施設建築物の建設等スケジュールは、令和7年10月に除却整地工事着手、令和11年6月の新築工事完了が予定されています。

■赤羽一丁目第二地区

- ◎令和5年1月10日付けで、区長に「準備組合設立届」が提出されました。あわせて同日に、より良い教育環境の確保と魅力あるまちづくりのため、同地区と区立赤羽小学校敷地を一体的に捉えて、土地利用を図る検討を求めている要望書が区に提出されています。

■赤羽一丁目第三地区

- ◎令和4年3月8日付けで、区長に「準備組合設立届」が提出されました。
- ◎今年度は権利者を対象とした意見交換会を行い、現在の赤羽で残したいものや改善したい点等、これからのまちについて様々な意見交換が行われています。

▼赤羽一丁目再開発区域周辺配置図（手前がJR赤羽駅東口）



●赤羽小学校の教育環境への配慮

市街地再開発事業の事業化が検討されている各地区の北側には、区立赤羽小学校が位置しています。

それぞれの地区で事業化が実現すると、様々なまちづくりの課題が解決される一方、事業により建設される再開発ビルにより、日影やビル風などによる小学校の教育環境への影響が懸念されます。

また、赤羽小学校は施設の老朽化により、校舎の建替え時期を迎えているとともに、再開発ビル（集合住宅）から生じる就学児童を受け入れることができる施設規模に拡充することが求められています。

このため、区は各準備組合の事業化の動きを積極的に支援することで、各地区の周辺を含めたまちづくりの推進を図りながら、あわせて赤羽小学校の教育環境の確保・充実を実現できるよう、各準備組合と協議等を行いながら、検討を深めています。

◆市街地再開発事業の流れと、それぞれの地区の進捗状況



北区のホームページでは赤羽一丁目の再開発事業に関する情報を掲載しています。これまでの経過や各準備組合が発行している再開発ニュースなどを掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

赤羽一丁目の再開発事業HP QRコード



赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会主催 まちづくり懇談会を開催します！

赤羽駅東口地区の「まちづくり提案」に 盛り込むまちづくりの想いを懇談しませんか？

当協議会では、まちが大きく動こうとしている赤羽駅東口地区の将来のまちづくりの方向性を示した「まちづくり提案」の取りまとめに向け活動してきています。

「まちづくり提案」に盛り込むまちづくりの想いを、広く地域の皆様から集めるために、まちづくり懇談会を開催いたします。



●開催日時

第1回 〇月〇日（〇）〇時～

第2回 〇月〇日（〇）〇時～

※両日とも、同じ内容です。ご都合の良い日程でお申し込みください。

●開催概要

- ・オリエンテーション（これまでの経緯・ワークショップの成果説明）
- ・グループワーク

～「まちづくり提案」に盛り込みたいまちづくりの想いは何ですか？～

●開催場所

赤羽会館 大ホール（第1回、第2回とも同じ会場）

●参加方法(事前申込制)

イベント名（まちづくり懇談会）、希望回（第1回・第2回・どちらでも良い）、名前（ふりがな）、住所、電話番号、ご記入の上、〇月〇日（〇）【必着】までにメールもしくはFAXにて事務局までお申し込みください。

多くの方にご参加いただくため、ご都合のつく方は、できるだけ「どちらでも良い」をご選択ください。

ご参加いただく回は参加証にてお伝えします。参加証は〇月〇日（〇）までに、お送りいたします。

【申し込み・問い合わせ先】

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会事務局

北区まちづくり部まちづくり推進課 担当：梶川、福島

◆TEL 03-3908-9154

◆FAX 03-3908-2244

◆メール machisuishin-ka@city.kita.lg.jp

メール申し込みにはQRコードをご利用ください。
メールソフトが立ち上がります。



赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会（主催者）について

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会は、右図に示す約 43ha を対象とし、地域内に居住する住民の皆さん、自治会、商店街会、PTA などの関係者の皆さんと北区が、まちづくりの勉強会や情報交換などを通し、互いに考え行動することで相互理解を深め、まちの将来像を考える場として、平成 21 年 10 月 30 日に設立されました。

ここ数年の協議会運営は、自治会、商店街会、PTA の代表者を幹事とした「幹事会」を中心に活動を行い、年に一度の「総会」で活動内容や活動方針案の報告等を行っています。



「まちづくり提案」策定に向けて

協議会では平成 27 年度に将来の赤羽駅東口のまちづくりをまとめた「ゾーニング構想」を策定しました。

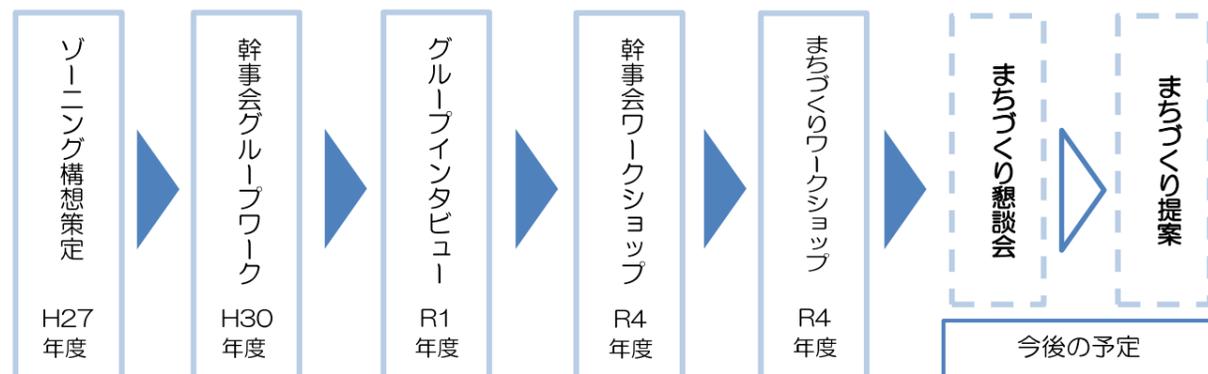
その後、駅東口周辺における市街地再開発事業の事業化検討などの動きを契機に、特に地域の活動拠点と位置付けた赤羽小学校の在り方などを中心とした将来のまちづくりについて、「まちづくり提案」に取りまとめるため、幹事会ワークショップやまちづくりワークショップ（公募）を開催し議論を深めてきました。

「まちづくり提案」の策定前に、広く地域の皆様と意見交換をするため、まちづくり懇談会を開催します。



まちづくり提案に向けた今後の流れ

今後は、ワークショップ等の成果を広く地域の方々と意見交換をする場として「まちづくり懇談会」を開催し、「まちづくり提案」にとりまとめていきます。



まちづくり懇談会について

まちづくり懇談会は、より多くの地域の方にご参加いただく機会を設けるため、2日間の日程を確保し開催することにしました。詳細・申込方法は追って、協議会エリアに関連する町会・自治会区域内の全世帯に配布いたします。

●開催日時

第1回 ○月○日 (○)

第2回 ○月○日 (○)

※両日も同じ内容です。ご都合の良い日程でお申し込みいただけます。

●開催概要

- ・オリエンテーション (これまでの経緯・ワークショップの成果説明)
- ・グループワーク
- ～「まちづくり提案」に盛り込みたいまちづくりの想いは何ですか?～

●参加方法

メールもしくはFAXにて事前申込をしていただきます。



当面の協議会人事について

令和3・4年度の協議会活動は、コロナ禍の情勢に十分配慮しながら総会で議決した活動方針に則ってこれまで行ってきました。

しかし感染拡大の影響で活動着手が遅れ、途中2度の中断も発生したため、所期の到達点(まちづくり提案取りまとめ)まで至っていない状況です。

一方で、まちづくり懇談会の開催を控え、まちづくり提案のとりまとめも視野に入ってきていることから、協議会人事については、コロナ禍で中断した期間を充てる形で、まちづくり提案を取りまとめるまでは現在の令和3・4年度の人事のまま、当面の間は活動を継続することにしました。

◆ 問合せ先：赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会 事務局
北區まちづくり部まちづくり推進課 ☎ 03-3908-9154 (直通)

東京都北区公式ホームページ (赤羽駅東口地区のまちづくり)
<http://www.city.kita.tokyo.jp/jutaku/toshikekaku/machizukuri-02/index.html>

赤羽駅東口地区
まちづくりニュース

(案)

令和5年4月

発行：赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会



※画像はすべて権利者の許可を得て掲載しています。

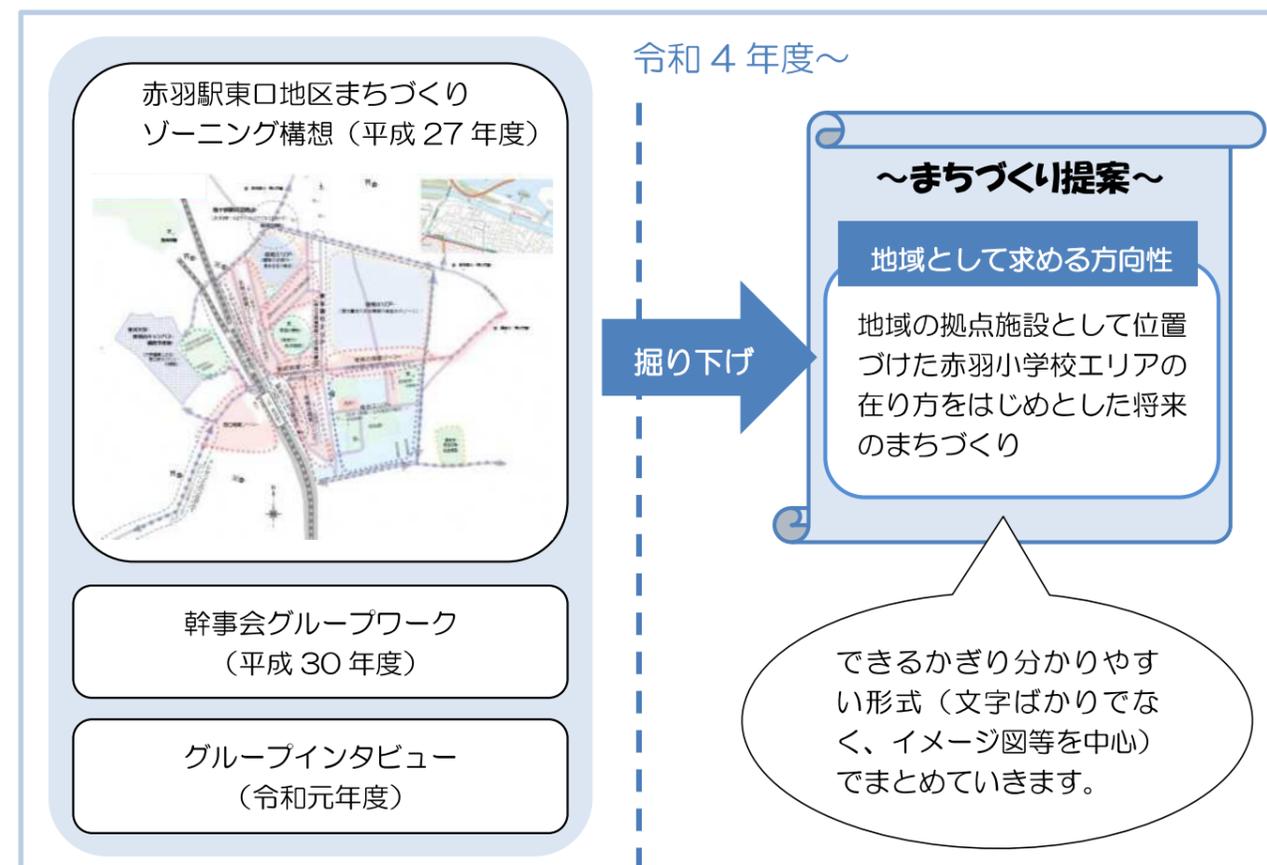
「まちづくり提案」の作成に向け
ワークショップ形式で将来のまちづくりについて検討を進めています。

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会では、地域内で事業化が計画されている住民発意による市街地再開発事業等の新たなまちづくりの進捗にあわせて、将来のまちづくりについて一層の検討を深めています。

令和4年度は、平成27年度に策定したゾーニング構想や過年度のグループインタビュー等の成果を掘り下げていくことで、地域の拠点施設として位置づけた赤羽小学校エリアの在り方をはじめ、将来のまちづくりにおいて、地域として求める方向性をまちづくり提案として作成することを目指して活動してきました。

幹事会では、活発な議論を行うため、ワークショップの形式を取り入れました。

また、より多くの地域の皆様のご意見を参考にし、まちづくり提案に反映させるため、協議会エリアにお住まいの方を対象に公募で、幹事会で実施したワークショップと同様の形式で「まちづくりワークショップ」を開催しました。



幹事会ワークショップ・まちづくりワークショップのご報告
は本誌の中面をご覧ください。

<第1回幹事会>

●開催日時 令和4年5月31日(火)午後2時~3時15分

●会場 赤羽会館

- ①これまで実施したグループワークやインタビューの振り返り
- ②参考事例の紹介
- ③次回グループワークのテーマ出し

「赤羽」ってどんなまち? 「赤羽」をどんなまちにしたい? という視点で、2回目幹事会グループワークのテーマを掘り起こしました。



<第2回幹事会>

●開催日時 令和4年7月5日(火)午後2時~3時45分

●会場 赤羽会館

前回の幹事会で出されたテーマをもとにして、目指すまちのイメージを、いろいろな立場や角度から膨らませました。



第1回で掘り起こされたテーマ

テーマ① 誰もが暮らしやすいまち赤羽

テーマ② みどりとうるおいのあるまち赤羽

テーマ③ 新しい魅力を発信するまち赤羽

自分以外の異なる立場・視点で考えるため
カードを引き、書かれた人物になり切り考えました



<第3回幹事会>

●開催日時 令和4年10月19日(水)午後2時~3時50分

●会場 赤羽会館

膨らませたイメージを少しずつ具体的に、「どのようなもの」が、「どこ」にあったら良いか、まち全体との関係に留意して考えました。

赤羽小学校は、再開発ビルとの親和性に課題があるものの、今の位置にあり続けた方が良いという意見が多く出た一方、小学校はより良い教育環境を求めて、赤羽会館や赤羽公園の一部に移設しても良いのではという意見も出ました。

また、荒川への道標が様々あると良いといった意見や、赤羽会館等の文化施設を回遊性がある形で配置し、人の流れをつくり、賑わいに繋げるといった意見などが出ました。



スポーツ施設 ()	ランナーズ ステーション	大学との 交流ができる場
トレセンとの 交流ができる場	多世代交流の場	助け合いの場
託児所	高齢者の憩いの場	文化施設
映画館	舞台	ギャラリー
西春町の 店舗や場所	若い世代が 楽しめるお店	物販店舗



第2回幹事会で出された意見をもとに作成した具体的なイメージのラベルを地図に貼りこみながら議論しました

<第1回>

●開催日時 令和4年12月10日(土)午前10時~正午

●会場 赤羽会館

「赤羽」ってどんなまち? 「赤羽」をどんなまちにしたい? という視点で、目指すまちのイメージを、色々な立場、角度から膨らませました。



<意見出し>その①

まずは自分自身が暮らしやすさを感じていることを出し合いました。

<意見出し>その②

次に多様な意見を求めるため、カードを引き、書かれた人物になり切ってイメージしてみました。

<第2回>

●開催日時 令和4年12月17日(土)午前10時~正午

●会場 赤羽会館

膨らませたイメージを少しずつ具体化し、どこに何があったら良いか、実現するためにはどうしたら良いか、まち全体との関係に留意して考え、地図に落とし込みました。

赤羽小学校は今の位置が良いという意見が多く、複合化や高層化、再開発事業に取り込む案が出た一方で、日照などの問題を考慮し、学校跡地や赤羽会館・赤羽公園を赤羽小学校の敷地に活用しても良いのではという意見も出ました。

また駅前広場の改善や、赤羽公園にカフェや芝生などを設けて魅力をアップする、駅前と赤羽会館・赤羽公園の間に魅力的な動線をつくるなどの意見が出ました。



幹事会(ワークショップの振り返り・まちづくり懇談会に向けて)

<第4回幹事会>

●開催日時 令和5年2月21日(火)午後2時~3時50分

●会場 赤羽会館



<第5回幹事会>

●開催日時 令和5年3月29日(水)午後2時~〇時〇〇分

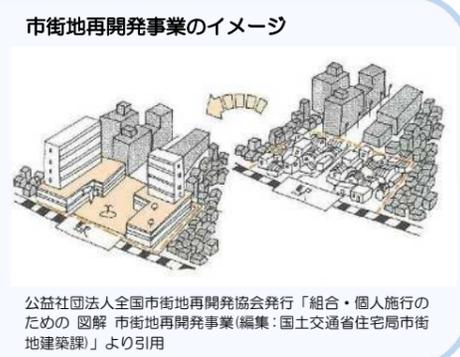
●会場 赤羽会館

第4回・5回の幹事会では、幹事会ワークショップやまちづくりワークショップの振り返りを行うとともに、まちづくり懇談会の開催に向け、まちづくり提案のイメージの共有や、まちづくり懇談会の開催方法について意見交換しました。



市街地再開発事業ってどんな事業ですか？

A 低層の木造建築物が密集し、防災上の懸念がある市街地等において、敷地を統合し、不燃化された共同建築物に建替え、合わせて広場や街路などの公共施設とオープンスペースを確保することで、快適で安全な都市環境を再生させることを目的とし、都市再開発法に基づき行われる事業です。



「赤羽公園」にリニューアルの計画はありますか？



A 「赤羽公園」は駅東口周辺の貴重なみどりや憩い、にぎわいの空間であり、防災上も重要なオープンスペースとなっています。駅東口周辺の一層の魅力あるまちづくりを進めるため、「まちづくり計画(下記参照)」の中で、赤羽公園の施設更新について検討を行ってまいります。

赤羽駅東口周辺地区まちづくり基本計画の策定に着手します！

区では、第二地区及び第三地区の準備組合結成を受けて、今後同地区周辺で市街地再開発事業による大規模な土地利用転換が見込まれることから、適切な土地利用を誘導し、望ましい土地利用の考え方などをまとめるため、令和5年度から「まちづくり基本計画」の策定に着手します。

なお、基本計画策定にあたっては、区民の皆様のご意見等をお聞きすると共に、今後適時情報提供を行ってまいります。

この『赤羽 PRESS』では、赤羽駅東口周辺地域の皆様に、まちづくりの進捗に合わせ、適時適切に情報をご案内させていただく予定です。

事業化が進む再開発事業の進捗状況や、「まちづくり基本計画」の策定に向けた検討状況などをお知らせさせていただきますので、是非ご覧いただくとともに、ご意見やご質問がありましたら下記までお問合せ下さい。

今後とも赤羽駅東口のまちづくりに、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先 北区まちづくり推進課(担当:荒川、梶川、福島)
 電話:03-3908-9154 Fax:03-3908-2244
 E-mail:machisuishin-ka@city.kita.lg.jp

赤羽駅周辺地区 まちづくりだより

赤羽PRESS 創刊号

令和5年3月 発行:北区まちづくり推進課

北区ホームページ検索
 『赤羽駅 まちづくり』

『赤羽 PRESS』の発行にあたって
 東京の北の玄関口であり、区内屈指のにぎわいのまちである赤羽駅東口周辺では、地区の権利者の方々が中心となって、災害に強く、魅力あるまちづくり(市街地再開発事業)を進める動きが盛んになっています。区は、「区民とともに」のまちづくりの基本的な姿勢のもと、この間、これらの動きを積極的に支援しています。

この『赤羽 PRESS』は、区が支援しながら進めていくまちづくりの動きを、地域の皆様にお知らせし、ご理解をいただくため発行するものです。

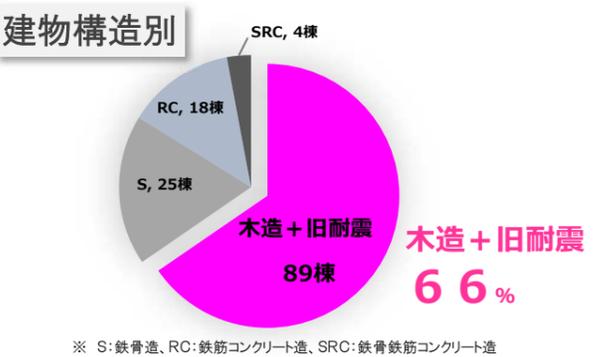
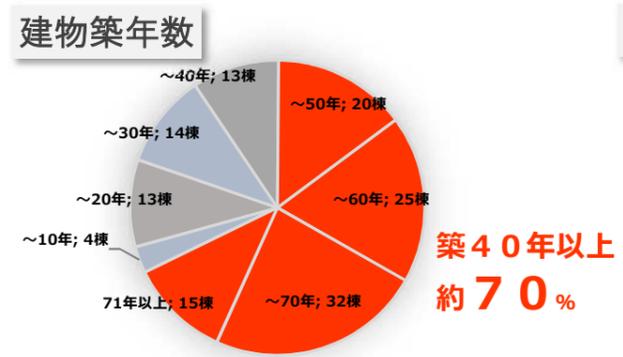
赤羽駅東口周辺地区の市街地再開発事業区域について

赤羽駅東口周辺の市街地再開発事業は右の図の3つの地区に分かれて事業化の検討が進められています。

このあたりは、区内でも有数の商業地の一画でありながら、戦災復興を経ての市街地の成り立ちから、現在は老朽建築物が数多く密集し、防災面において深刻な課題を抱えています。



▼ こちらの円グラフは3つの地区の建物状況を表したグラフです。



■建物全体の約70%が築40年以上(そのうち築50年以上が過半数)を経過しており、施設更新の時期を迎えています。長屋造りの建物も多く更新が進んでいません。

■地震の際に倒壊の懸念がある木造建築物と、現在の耐震基準に変更される前(旧耐震基準時)に建築された建物が全体の2/3を占めており、防災面での不安があります。

市街地再開発事業の事業化に向けた各地区の現況

赤羽駅東口周辺地区（赤羽一丁目地内）では、駅前通りに面する3つの地区（右下図参照）で、それぞれ市街地再開発事業の事業化が検討されています。各地区において、このあたりの地域が防災面や災害時への不安を抱えることから、火災や地震など、いざという時への心配や、次世代への継承という将来への様々な課題を解決し、魅力あるまちづくりを進めるため、権利者の方々が中心となって事業化に向けた組織（準備組合）を設立し、合意形成を図りながら、検討を進めています。

■赤羽一丁目第一地区

◎令和2年8月に、3つの地区に先駆けて、市街地再開発事業の都市計画を決定しました。

◎その後、準備組合にて、事業認可に向けた検討や、事業を安定的に進めるための事業推進体制の強化が図られました。

◎令和4年3月には、準備組合が主催し、地域住民を対象とした「事業概要説明会」が開催されました。

▼第一地区施設イメージパース



※今後の検討により、施設計画及びスケジュールは変更となる場合があります。

《今後の予定》

◎令和5年7月頃を目途に、都市再開発法第11条に基づく本組合設立認可申請を目指しています。

◎現時点での施設建築物の建設等スケジュールは、令和7年10月に除却整地工事着手、令和11年6月の新築工事完了が予定されています。

■赤羽一丁目第二地区

◎令和5年1月10日付けで、区長に「準備組合設立届」が提出されました。あわせて同日に、より良い教育環境の確保と魅力あるまちづくりのため、同地区と区立赤羽小学校敷地を一体的に捉えて、土地利用を図る検討を求める旨の要望書が区に提出されています。

■赤羽一丁目第三地区

◎令和4年3月8日付けで、区長に「準備組合設立届」が提出されました。

◎今年度は権利者を対象とした意見交換会を行い、現在の赤羽で残したいものや改善したい点等、これからのまちについて様々な意見交換が行われています。

▼赤羽一丁目再開発区域周辺配置図（手前がJR赤羽駅東口）



●赤羽小学校の教育環境への配慮

市街地再開発事業の事業化が検討されている各地区の北側には、区立赤羽小学校が位置しています。

それぞれの地区で事業化が実現すると、様々なまちづくりの課題が解決される一方、事業により建設される再開発ビルにより、日影やビル風などによる小学校の教育環境への影響が懸念されます。

また、赤羽小学校は施設の老朽化により、校舎の建替え時期を迎えているとともに、再開発ビル（集合住宅）から生じる就学児童を受け入れることができる施設規模に拡充することが求められています。

このため、区は各準備組合の事業化の動きを積極的に支援することで、各地区の周辺を含めたまちづくりの推進を図りながら、あわせて赤羽小学校の教育環境の確保・充実を実現できるよう、各準備組合と協議等を行いながら、検討を深めています。

◆市街地再開発事業の流れと、それぞれの地区の進捗状況



北区のホームページでは赤羽一丁目の再開発事業に関する情報を掲載しています。これまでの経過や各準備組合が発行している再開発ニュースなどを掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

赤羽一丁目の再開発事業HP QRコード

